

ヨシイちゃんの ひとりごと



(架橋百年)

七条大橋の哀れ

「この文はある新聞社に投稿した……」もの。もう半年以上前のことであり「歿」になったようなので極一部訂正して此処に掲載しました。

【来年(注・今年)1933年(大2)架橋された七条大橋が百年を迎える。当時の京都市日新聞は、同4月14日、当時の井上京都市市長、大森京都府知事参席のもと地域の人々と近隣小学校生徒3500名が参加した渡り初めを報している。

その後、幾つかの洪水に耐えて一度も流されず壊れず、橋は鴨川東西通行を唯一護った橋。前の戦争中の金属等類供出で、高爛(照明灯)は取外され、欄干は木製になり、ヤツと戦後40年後(昭61)今の形になった。(元のとほかけ離れたデザイン)

歩道のアスファルトは、兄弟橋四条大橋と比べものにならない、一つ「川下の塩小路橋」より見劣り、隙間に苔と草が生えている。

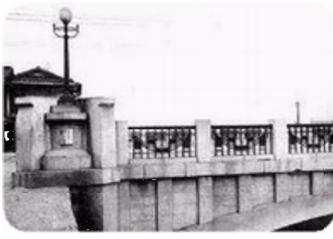
黎明期のRCアーチの中で群を抜いて巨大アーチ型の重厚な橋脚部分は、積年の汚れて黒ずんでいる。それが鴨川筋において明治期の威容を残す貴重な橋として、土

木学会が選奨土木遺産として認められた橋の今の姿なのだ。

橋上の市電線路はなくなったが、京都駅から東山への入口の橋、車両、歩行者も多い。今も橋として役を果たしている。物言わず、言えない橋の姿に哀れを感じ、化粧直しと架橋百年のお祝をして上げたいと思つが、酒谷義郎 78歳】



上:(大3)七条大橋渡り始め
中:戦前の高爛(照明)と欄干下・汚れている橋脚
北大路より交通量は多い七条のこの格差は何故ですか?



北大路橋(昭8)は、平20年7月架橋時の灯籠照明の復元や憩いの空間である眺望バルコニー設置など修景施設を整備完了!!

ご投稿

酔うて候

不思議です。びしょと寒い日が続く、雪も降って、朝からヨガの月曜日、今日こそは「長袖シャツでスタジオ入りしたからでしようか。手足がポカポカ。心なしかお肌のくあいもほんのり紅がさしたよう。あ、もしかして、と思いつたりました。酒がすです。



先日「通し矢」と「楊枝(ヤナギ)のお加持」に誘われ三十三間堂に詣でました。途中「サカタ」さんの前で何と甘酒のサービス! 受けたいのでに酒粕を求めたのこりの欠片をトーストに塗ったのでした。バターと蜂蜜と酒粕の「クラブ」は香ばしくこの一月の底冷えをしのぐにもってこいだっただようです。たかが外れと申しましょか。ヨガの一時間中ほろほろと楽しく身の屈伸も



「朝寝 朝酒 朝湯」が大好きでそれで身上「」のあの歌が浮かびましたが酒はともかく酒粕は朝「ピツタリ」と思いました。

近く「酒は大七」旨さは第一「(福島・宮城)の地の帰省します。母「きあとの父に酒粕のこと耳打ちしてきまひよ。」

石動敬子

(注)大七は福島県 本松の酒の銘柄

お金の要らない 長生き方法

同窓会に出る

私は96年(昭21)貞教国民学校(東山区)・1952年(昭27)立命館高校卒業・大学は入って2回生で除籍されました。

私達は戦争、敗戦が生徒時代です。学童疎開や空襲、「お米」のご飯も食べられない頃でした。修学旅行は小学、中学とも有りません。卒業後二十年程後の幹事が企画してくれて小学校の卒業旅行の定番だった「伊勢神宮」へ行つたのです。

「酒の粕の効用 50gの酒かすを甘酒状にして、3週間飲み続けた実験結果。動脈硬化の引き金になるLDLコレステロール値が平均で20%低下!さらに被験者は口をそろえて「お通じが改善」。その通りです。私は毎朝「酒粕入りお粥」を食べます。夜は風呂上がり「手・顔」に摺りこんでスベスベでっせ。家内に内緒でさわらせまひよか。YS

私達は「裸木会」との名の二年組のクラス会」です。年2回開催で今年卒業60年120回。クラス担任の「柳田先生」(三井寺大僧正・平12・11・10没)の発案でつくられた会。毎年「成人の日」ともつ一度集まります。

その会に119回出席。欠席の一回は母親の葬儀という猛者がいます。同窓生は同じ社会的環境で育ち生きて来ましたが、学生生徒時代は勉強や体力で競いあつた仲間でも、社会生活や日常生活の姿勢で随分変わります。白髪や禿げは仕方無いとして、「若さ」「元氣さ」では差が出てきます。友だちと会うて、若さを競い合つ。若く見える努力をする。そのチャンスだ。

同窓生は同じ社会的環境で育ち生きて来ましたが、学生生徒時代は勉強や体力で競いあつた仲間でも、社会生活や日常生活の姿勢で随分変わります。白髪や禿げは仕方無いとして、「若さ」「元氣さ」では差が出てきます。友だちと会うて、若さを競い合つ。若く見える努力をする。そのチャンスだ。

京都&東山 ぶらりピカリ

38

馬町爆撃を受けた この通妙寺(つうみょうじ)は、東山区五条大橋東六丁目にある日蓮宗のお寺

通妙寺

蓮宗のお寺



西本願寺の広大な大谷本廟の小路沿いにある。この辺り一帯は鳥辺野(とりべの)と言われ、

嵯峨の「化野」と並び伝承によると、野ざらしになっていた遺骸を空海が弘仁(仁)年(821年)、五智山如来寺を建立し埋葬したのに始まり、寺院が多く建立された。話は少し反れるが、松原通り大和大路東



「六道まじり」期間中、お盆の「六道まいり」の秘蔵の絵の一つ「西福寺」前に建つ「六道の辻」の石標が有り、鳥辺野に逝く亡き人とお別れした所とか。京名物「幽霊飴」も近くで売られている。

さて、通妙寺は、戦争時の馬町爆撃を受け、被爆で三名死者がでた寺である。今や京都で一番観光客の多い世界遺産「清水寺」の直ぐ隣の町内にありB29が、一秒

早く爆弾を落しておれば、清水寺の今の姿はない。逆にもう一秒遅れると「妙法院・博物館」が被爆しただろう。通妙寺は「身代わり」になった寺といえる。

その山門には「鳥辺山帝釈天王」と書かれ、境内にはそのお堂があります。



筆者は、仏教には無関心な方、帝釈天王を調べた。インドのバラモン教、ヴェーダ神話の神で

創造神。梵名はインドラ。帝釈天(帝釋天)、帝釈(帝釋)、釈提桓因(しゃくだいかんにん)とも。雷靈の武神。とあった。仏教では十二天の一尊で、東の守護神だと言つた。本山妙傳寺(左京区・西身延)の歴世のお墓があり、いわゆる本山の御廟でもあるとか。

毎年、京都勇師法縁の寺院が集まり、本山歴世の眞首、並びに勇師法縁の先師に「回向残られる格式の高いお寺である。その本山妙傳寺(左京区・西身延)は東大路二条下(下)にあり、1975年(文昭6年)、円教院日意によつて妙伝寺を建立された。宗祖の日蓮の御眞骨を奉安された寺。



東山一糸付近で日蓮像が拝める。

市電が走った 京都を巡る

24

今出川浄福寺

今出川大宮
IMADEGAWA JOFUKUJI

千本今出川、川で北、東、西の三方向へ分かれる市電の系統のうち、乗車したのは赤い系統板の1号系統でした。同系統は、右へ曲がり、今出川通を東進、西陣の中心へ向かいます。

当時の今出川通には、西陣の機織りも聞こえてきそうな出格子の京町家が見られました。現在街並みも変わってしまいましたが、当時の西陣郵便局ぐらいいでしょう。

西陣郵便局には、ひとつの思い出があります。大学時代のことですが、その時、大学は紛争中で、前後期の試験はなく、すべてレポート提出となりました。書けば通るものですが、締切日があります。準備作業は何もせず、前日の深夜になつて書き始め、締切当日の早朝、自転車を飛ばして、集配局である西陣郵便局まで投函に行きました。当日の消印があれば、レポート有効なの



朝の今出川浄福寺に行く
今出川線の市電



す。各会場では、地域の特色を生かしたイベントも行われ、織り成す暮らした、家をテーマとした、穏やかな光と地域のイベントです。

【お詫び】

前号の同欄の写真キャプション2点が入れ替わっていました。お詫び申し上げます。

です。実にいい加減というか、おりました。「赤門寺」とも言われ、おらかな時代の思い出です。まもなく到着する停留所が今出川浄福寺です。この停留所で個人的な思い出は、停留所の真ん前に、逸話が残っています。

今出川通は大きく変わりましたが、少し中へ入ると、また多くの京町家が残っています。とくに、浄福寺通を上がって、上立売通を越えたところから京町家が続き、白い石畳の道が始まります。毎年十一月、ここで町家を照らし出す「都ライト」が開催されます。すぐ近くの上七軒の会場とも行われる、このイベントは、暮らしている内部から、外部へ光を放ち、建物から洩れる灯りで日頃見落としがちな身近な町並みを彩ります。一般的なライトアップとは対照的に、町家の暖かみで優しい灯りをメインとしている点特徴的です。石畳に打ち水をした通りは、反射して光る灯りが非常に美しく、多くの人たちが訪れていま

酒屋で生きて 生かされて



第七十五話

大島渚さんを 惜しむ

大島渚



お亡くなりになりました。まだまだ頑張って欲しいお方だったのに。ご冥福を祈る。

この爛の昨年10月号第七十三話で、ある意味で恩人である「大島渚さん」のことを書きました。昔、監督が、お母さんの様に接されていた田口貞子さん経営の、「杉ざかや」(南箭)にお酒を納入してました。お客の監督や俳優、学者さんが各地の銘酒を必要と望まれ、それに応えるため仕入れ、良いお酒に出会うことが出来ました。当時の清酒は級別があり、灘・伏見大手の特・一級酒が大量販売され、地方の酒蔵は醸造はしても自分で売らず、「大手蔵に売る」(桶売り)が殆どでした。それは酒米統制と蔵の醸造量など酒税法(大蔵省)の厳しい管理下であったことが影響してました。

地方の酒は、特・一級では売れず安い二級で売れるしかない状態でした。監督や俳優さんは、地方で

良い酒に巡り合うと、「その酒を「杉ざかや」のおかみさんに話し、私とも仕入れ、数本納

入したのです。残りは家内名義の隣の「立飲み酒場」で売りました。

熊本「美少年」高知「司牡丹」岐阜「白真弓」等々です。「杉ざか

や」さんにお客さんが持ち込まれる酒もあり、その空瓶は店に戻

てきます。私も酒屋の端くれです

から、見慣れない空壇が戻ると「栓」をとり香りを確かめます。そ

して愛媛の「梅錦」や宮城の「浦霞」新潟の「越乃寒梅」を見つけお取

引を始めました。「寒梅」さんは夏に約束の数を引き取れず以後仕

入れを断られる失敗もしました。でも、地酒では京都のトップラン

ナーになり、仲間を誘って「日本名門酒会」に参加しました。そん

なことで恩人的なお方です。「杉ざかや」さんの「会」で監督と戸浦六宏さんは共に京大。私

は立命館でしたが、全学連の「学園復興会議」・荒神橋事件・「劇団風波」などに絡んだ事もあり共通の話題で話が弾みました。勿論

酒を飲みながら、六宏さんは酒癖で困りましたが、監督はそれを宥める側で、お静かでした。もう60年余の昔です。今頃天国で監督・六宏、お上さんらの口喧嘩が始まったかも、まだ、「こちらにいる私は仲裁は出来ないが・・・」

お燗の つけ方

燗をしようと
いっても温め
方にも色々。

同じ酒でも多彩に変化するのが日本酒の魅力でもあります。

直火「やかん」や鍋に酒をタツプリと張り、やガスで加熱します。すばやく温度が上がリ、ややワイ

ルドな演出が出来て「アウトドア」など大量に酒を温めるのに適して

います。やかんや鍋に接している部分が、超加熱して「アルコールが揮発し、刺激臭が強く辛い酒になります。

湯煎燗 もっとも一般的ポピュラーな燗です。大き目の鍋に水か

火にかけ、酒を入れた徳利やチロリをそのお湯を張り浸けて温め暖

めます。鍋の大きさや、酒の分量

浸ける本数で仕上がりのなる時間は変わります。手前お湯で浸ける

のがお勧めです。アルコールが揮発する温度より低いので「香」が

ぬけません。また徳利やチロリ温まり、熱がジンワリと酒に伝わる

ので、過加熱を起こしませんから辛い酒にはなりません。

水を沸かしながらつける時間をかけて温度があがるので、酒の香り成分が飛んで気が抜けたの酒になります。

ならば熱湯に浸けてやると、徳利が急速に加熱され、内壁に接する

部分が過加熱して「アルコール」臭がつよくなります。徳利を引き

上げた後も燗が進んでしまつこと

があります。

電子レンジ燗 電子レンジのマイク口波は、物の細い部分に集中

する性質があります。徳利を使うと首が熱くなり底はぬるいまま

という事になり、別の徳利に入れ替

え再度チーンになります。アルミ

ホイルを入れてよいレンジなら、

徳利にアルミホイルを裾が広がら

ないように被せると上手くいきます。

編集後記

今月(1月)

早々から調子が悪いPCをたらかして、「とんからりん」の制作に取り掛かった。

「フナズック」もやりだした。お友達も沢山出来た。いよいよ情報や美しい写真、参考になる意見の多い。エエナア使っていた

が、突然、友達を誘えなくなつた。システムの制約を破つたペナル

ティだ。自分では何で判らないが多分処で「決めの事を破つた

ので、。厳しいがシステムとして私の中でFBの信頼性が高まつた。

編集子は元来「思い込み。一人ガッテン」が強いらしい。祖母が

「片意地な頑固な子なや」と嘆いていた。スパット切替ができず引

きずる性格。

今年年賀状に男性多したが、女性を感じる字があつた。17歳の頃に

幾度も会つていたある人思い出した。あるキツカケで以来、数度

しか会っていないお人だ。ふわつと懐かしいが非せい気分。そのことを少し思ひ出し、「とんからりん」2月号に書いた。その数日後、「年賀状の男性」が豊田勇造ラインに見えた。その「主人だ。書き上げた原稿を密封して渡したが、考えた未掲載することはないと決めたパソコンから削除した。誤って他の文も削除。ケメコさんのお助けで助かった。残念ながら「心文で表すには能力不足



今も棟で計り銚子を
銅壺で温める神馬酒場

現代も当時と同じ酒の提供の方式を残している。写真は、千本中立売上の西料理は、祇園の一流料理店側「神馬(シンマ)酒場」で修業した息子が担当している。我が妹の旦那。この吟味した素材と磨いた腕で店は、酒屋初代の祖父が手つくっている。値段はそつ印にしていた「神馬」チエー。高くない。「轟原を」店時代の名を残している。電話 075-461-4322